

彫刻家 上床 利秋

## ガマガエルの不思議

杉アトリエ近辺には小川や池はない。にもかかわらず、庭などでかいガマガエルを見かけることがある。以前から不思議に思っていた。

ところが先日ガマガエルの子どもは実によく動くことに気が付いた。それも雨の多いこの6、7月に見かけるのだ。

のっそりとして「主」のようなガマガエルも幼年時代は良く動き、どんどん「上」を目指して登っていたようだ。なんとアトリエの屋根の上にもで子ガエルが登っていたと、あまどい屋さんが報告してくれた。

それであるとすれば、アトリエ近くの150mを超える断崖の下から子ガエルはど根性を出して登ってきたに違いない。2cmくらいだったチビカエルが急峻に跳ね返されながらも、夜間や雨の日を利用してアトリエまでたどり着いてきた姿を想像できる。

確かに山には食料の昆虫が多いので生活には困らない。アトリエでも夏の夕方にはどこからともなくカエルの合唱が聞こえてくることがある。他にも違う種のカエルがいるようだ。

小さいカエルが崖をよじ登り、アトリエまでたどり着いていることは間違いない。

しかし、ここで疑問は残る。

産卵は水がなければ困るはずだ。

でかくなつたガマガエルが果たして崖から転がり落ちるように小川まで降りることは可能なのだろうか？



断崖の頂上の奥に杉アトリエは建っている。田んぼからの高低差はおよそ150m。(そば茶屋吹き上げ庵空港バイパス店近くより撮影)



最近杉アトリエで見かけたガマガエルたち。  
以前は20cmを超えるガマガエルもみかけたことがある。

2023年7月